

# ているるちゃんがいく！

Vol.51  
2018.7

- 特集1  
平成30年度男女共同参画週間イベント
- 特集2  
おきなわ女性たちのあゆみ
- 好評連載中！ すてきな夫婦にインタビュー
- 事業報告と講座案内
- ご案内



# 平成30年度 男女共同参画週間イベント

## 男女共同参画週間パネル展

沖縄県男女共同参画センターでは、6月23日(土)から29日(金)までの平成30年度男女共同参画週間にあたり、パネル展「六次産業まあ〜さむんマップ 農林漁業の女性活躍!」を開催しました。

男女共同参画社会の実現に向けて、さまざまな分野で女性活躍推進の動きが拡大し、日本は大きく変わりはじめています。

今回のパネル展では、農山漁村における女性の政策・方針決定過程への参画拡大を目的に、沖縄の魅力ある地域資源を活かし農林漁業で活躍している女性たちを紹介しました。沖縄は農業従事者全体のうち、女性率は33.3パーセント(※1)。林業、漁業に関わっている女性は2.4パーセントと農業に比べて少ない状況ですが、それぞれの地域資源を活用した6次産業化で注目されています。6次産業化とは1次産業(農林漁業)×2次産業(加工・製造)×3次産業(小売・流通)をかけあわせたもので、新たな付加価値の創出が重要視されています。6次産業化の進展に伴い、女性の役割の重要性がますます高まっています。

(※1)平成29年3月農林水産省農山漁村女性に係る基礎統計データより

## 農林漁業の女性活躍!

パネル展の中盤では、沖縄の豊かな農林水産物をもとに新しい商品やビジネスを展開し、6次産業化の

認定をうけた事業を地区別に紹介しました。北部22事業、中部8事業、南部10事業、宮古5事業、八重山10事業が認定を受けています。そのうち、女性が代表となっている事業所は、現時点で全体の12.7パーセントです。農林漁業での女性起業には個人だけでなく、グループ経営もあり、時代や環境による変化も紹介しました。

### ⑥ まあ〜さむんマップ (北部その1)

各地で育たれた産物に「加工・製造」を加えて新たな価値を生み出す。例: 沖縄産、オリーブオイル、オリーブソース。

【事例1】 産業者: 東洋水産株式会社。事業内容: 沖縄産、オリーブオイル、オリーブソースの加工・製造。新たな付加価値の創出による収益向上を実現。

【事例2】 産業者: 東洋水産株式会社。事業内容: 沖縄産、オリーブオイル、オリーブソースの加工・製造。新たな付加価値の創出による収益向上を実現。

【事例3】 産業者: 東洋水産株式会社。事業内容: 沖縄産、オリーブオイル、オリーブソースの加工・製造。新たな付加価値の創出による収益向上を実現。

【事例4】 産業者: 東洋水産株式会社。事業内容: 沖縄産、オリーブオイル、オリーブソースの加工・製造。新たな付加価値の創出による収益向上を実現。

【事例5】 産業者: 東洋水産株式会社。事業内容: 沖縄産、オリーブオイル、オリーブソースの加工・製造。新たな付加価値の創出による収益向上を実現。

【事例6】 産業者: 東洋水産株式会社。事業内容: 沖縄産、オリーブオイル、オリーブソースの加工・製造。新たな付加価値の創出による収益向上を実現。

### ④ 6次産業化ってなに?

次は女性活躍とも関係の深い「6次産業化」のお話です! 沖縄県は、魅力ある地域資源がたくさんありますが、産物という物質の「手」があるので、新たな付加価値の創出が重要視されています。

**6次産業化** = 1次産業(農林漁業) × 2次産業(加工・製造) × 3次産業(小売・流通)

平成28年12月1日に農林漁業の振興等を目的とする「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法(六次産業化・地産地消法)」が公布されました。

**6次産業化の目的と期待される効果**

目的: ● 農林漁村の振興 ● 所得向上 ● 食料自給率の向上

効果: ● 雇用確保 ● 産物向上 ● 豊かな食生活の実現への寄与 ● 食育推進への寄与 ● 環境への負荷低減への寄与

若者や子どもが集落に定着できる社会

沖縄は、まあ〜さむん(おいしいもの)がたくさんあるけれど、自給自足率は意外と低いそうです。生産額ベースでは5.4%(全国平均6.6%)、カロリーベースでは2.6%(全国平均3.9%)ですよ。(農林水産省「平成27年度都府県別食料自給率調査」)

## 沖縄のまあ〜さむん!と女性起業家たち

平成27年度6次産業化加工品表彰事業で表彰された女性起業者の一部を紹介しました。個人起業では、農業生産法人株式会社今帰仁さまみファーム代表取締役座間味久美子氏。クワンソウを活用した商品「クワンソウ花ピクルス」や「クワンソウ花ジュレ」を開発、2010年からは花摘バスツアーを始め、県内外から参加者を集め地域活性化にも貢献しています。

またグループ起業では、津堅島構造改善センター津堅みやらび代表 東松根 信子氏。甘くて高品質な津堅島のにんじんを使用した「人参ドレッシング津堅島の台所から」を開発。近年では沖縄県の「離島観光・交流事業島あつちい」などの受け入れにも協力。平成29年度「沖縄県地域づくり団体表彰」で奨励賞を受賞しています。



## 12 農林漁業での女性起業

まあ〜さむん、たくさんありましたねー。  
さて、女性活躍の話を聞きます！沖縄県で6次産業化の認定を受けている女性事業者は現時点では全体の約12.7%です。  
女性起業は沖縄県の「DE!GOプラン」でも推進事項として  
明記されており、今後ますます増えそうですよ！  
(出典)「DE!GOプラン」：沖縄県の女性活躍を促進していくための戦略(2016年)



### 農林漁業における女性起業の好循環



写真提供：農林漁業女性起業家協会（左）農林漁業女性起業家協会（右）

パネルでも紹介しましたが、女性が活躍することで地域活性化につながる好循環がもたらされます。女性の視点を活かした新しい商品・サービスの創造から新たな雇用が創出され、地域の経済が活性化し、女性はその地域に魅力を感じ、居場所を見出し、定住することにつながっていきます。女性のエンパワーメント等のメリットを人々が実感することにより男女共同参画社会づくりを大きく推進する力になります。

また、男女共同参画週間パネル展に関連づけて、沖縄の地で戦前から戦後にかけて、農業・商工業の発展や女性の地位向上に貢献した女性達を紹介するパネル展も同時開催されました。（写真下）



まあ〜さむん大集合！

27日には県内各地域でまあ〜さんむん（美味しいものを製造・販売している方々が1日限定で沖縄県男女共同参画センター「ているる」エントランスにお店を出店。「まあ〜さむん まちやぐわく」に利用している」を開催しました。会場は、「ているる」を利用しているお客様や近所の方などで賑わい、その日はまちやぐわく（商店）が並ぶ「ているる」エントランス商店街になりました。

「出店」「ひじきの佃煮・万能たれ」ちゅらさんグループ（恩納村）、「乾燥パイヤ・にんじんしりしり・ピーナッツバターペイスト」ネクストステージ沖縄合同会社（名護市）、「楚辺ぼーぼー」「さーたーあんだぎー」ぼーぼーの店ひととき（読谷村）、「県産豚皮から抽出したコラーゲン」トンプリンの店（西原町）、「南風原産かぼちゃの加工食品 大城野菜生産農園加工所（南風原町）、「ローゼルの加工食品 ハーブの里みどり農園（南城市）、「さし草の加工食品」C&S工房茶屋（南城市）

また、料理講座「うちなー野菜でチャーがんじゅー（いつも元氣）」（講師 大城ゆか氏）を開催。ハンダマの混ぜご飯や、へちまのスープ、ゴーヤー春巻き、月桃ゼリーなどを料理しました。うちなー野菜に普段触れている主婦の方も、新しい調理法や味付けに挑戦し、楽しそうに調理していました。最後は出来上がった料理を囲み、みんなで「ゆんたく」しながら試食しました。



同日には、徳島県上勝町のおばあちゃん達が立ち上げた「彩事業」の軌跡を描いた映画「人生、いろいろ」の上映会も行いました。

健康講座では、薬を使わず道具も使わない健康法「操体法」（講師 胡宮なりえ氏）を開催。

女性が元気に活躍できるきっかけとなるような、盛りだくさんの男女共同参画週間イベントとなりました。このようなイベントをとおし、沖縄県男女共同参画センターは沖縄の県民が輝く社会をつくるお手伝いをしたいと考えております。

# おきなわ女性たちのあゆみ

おきなわの発展や女性の地位向上のため、奮闘した女性たちの半生を紹介します。

そして現在、おきなわでその志を継いで活躍している女性たちを紹介します。

## 琉球かすりの里、南風原町

沖縄本島の南に位置する南風原町は琉球王府時代から、絣（かすり）の産地として知られており、今も「琉球絣の里」として、各工房などで職人たちが伝統を受け継いでいます。戦後は、生き残った人たちが貧窮生活の中からあらゆる材料をかき集め、再び織物の生産に励みました。現在もその技術は受け継がれ、伝統的な技法と柄を守ろうと、意欲的な生産を続けています。

戦後の琉球絣の復興に尽力「戦後50年 おきなわ女性のあゆみ（沖縄県）」から、大城カメさんをご紹介します。また、伝統技術の継承、技術向上と共に、後進の育成に力を注いでいる琉球絣事業協同組合理事長城間 律子さんから組合の活動などを紹介いただきます。



琉球絣

## 大城 カメ

琉球絣の本場、南風原町。「かすりの里」として、今や名実ともにその名は揺るぎないものになっている。しかし、ここに至るまでの道のりは、戦前、戦後を通して起伏の激しい足跡と時間が刻まれていた。中でも、大城カメは、其の先頭に立ち、戦後の人生を絣に尽くした人だった。

一九一四（大正三）年、南風原村照屋に生まれたカメは、機（はた）を織る箴（おさ）の音の中で育った。村の女みんながそうであるように、母親は一日中機の前に座り、女の子たちはその手伝いをしながら絣織りを覚えていった。

戦後、南風原町での織物復興のスタートは、豆腐袋づくりからだった。とはいえ、糸も染料もない時代だった。絣の基本柄集めには最も苦労した。絣の着物を着ている人の後を追っていき、柄一つひとつを採取して歩いた。絣業者も増え、組合も設立された。糸や染料も配給で手に入るようになり、何とか戦前の形を取り戻しつつあった。

しかし、カメ夫婦はそれに満足せず、芭蕉色をした色絣の再現に挑戦した。色絣は昔からぜいたくなものとして、首里の一部で織られるくらいで、まだ一度も試したことはなかった。「伝統織物を継承していかなければ…」という使命感で、何度も失敗を繰り返しながら、ようやく昔とそっくりのものをつくりあげたのである。以来、芭蕉色は南風原中に広まるようになった。売れない時は、毛糸織りで一時をしのごぎ、芭蕉色は南風原中に広まるようになった。



1976年、TVドラマに出演する山口百恵に絣を教えるカメ(左)  
※出典 「戦後50年おきなわ女性のあゆみ(沖縄県)」より

復帰後、海洋博の時は飛ぶように売れる一方で、織り手不足に悩まされた。カメら南風原の絣業者たちは、さまざまな苦難と闘いながら再興にかけ、戦前をしのぐ立派な琉球絣を作り上げた。

カメは沖縄賞、県知事賞、総理大臣賞など数々の賞を受け、「現代の名工」にも指定された。「これは私一人だけのものではない。昔から機とともに暮らしてきた南風原のみんなに与えられたものと思っている」と語っている。一九九三（平成五）年、七十九歳で他界した。

# 城間 律子 さん (琉球絣事業協同組合 理事長)

琉球絣の継承と発展、新しい取り組みや地域とのつながりにより、琉球絣事業協同組合が創立四十周年を迎える事ができました。

十四〜十五世紀頃、沖縄に織物が伝わって以来、今日まで多くの先人達がすぐれた技術技法を伝承し、県民の文化遺産として県内外から高い評価を受けてきました。平成28年には、琉球絣に続き、南風原花織りが、その百年以上の歴史を認められ経済産業大臣より「伝統的工芸品」の指定を受けることができました。

また、平成29年10月24日には、琉球絣事業協同組合が南風原花織りの保存と継承を行ないながらも時代のニーズに応える柔軟さが期待され、公益財団法人ポラ伝統文化振興財団より、「伝統文化ポラ賞 地域賞」を受賞しました。

南風原花織りが伝統的工芸品に指定されたことで、組合は保存と伝承に尽力することができ、町を挙げて後進の指導を精力的に行う活動をおし地域の活性化につながりました。わが国の伝統文化の存続と発展に、功績を表彰されたことに感謝し組合員一同、より一層力になる事を確信いたしました。

現在、琉球絣は従事者の高齢化と後継者不足が課題となっています。そこで組合が取り組んでいる事は、まず、伝統である分業の形態を受け継ぐことです。具体的な取り組みとしては、後継者育成事業、デザイン括(くく)り担い手育成事業、南風原花織り中堅育成事業などです。様々な課題がありますが、

先ほどあげた事業の取り組みなどは、現代の琉球絣に従事する者の重要な役目だと思えます。また、こういった事業を遂行できるのは地域や町、県、国の温かいご支援のおかげだと感じています。常に地域文化を大切にし、自らの仕事を重要な地場産業として自覚することで社会の発展に貢献できるよう頑張っています。

琉球絣事業協同組合は、これからもひとりひとりが力を合わせて、心をひとつにし、品質に優れた産地として消費者からあこがれの織物産地としてさら一層の精進を重ねてまいります。

未来を築くため、琉球絣、南風原花織りの技術、技法の伝承、改善、向上を図るため研鑽と後継者の確保育成に努めると共に新しい時代に対応する基盤確立に努めたいと思います。



**南風原花織**  
模様は花のように美しく図柄に立体感がでて華やかな印象を受ける。南風原町では、明治の頃から花織の技法を母から娘へ伝承した形跡があり、現在も改良されながら織り続けられている。

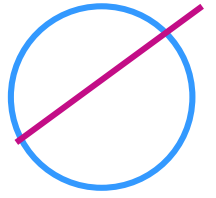


琉球かすり会館  
(琉球絣事業協同組合)

【場所】〒901-1112 南風原町字本部157  
【TEL】098(889)1634(琉球絣事業協同組合)  
【時間】9:00~17:30 【休館日】日曜・祝日  
【駐車場】あり(無料)



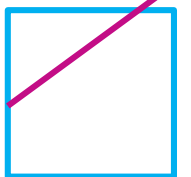
(写真) 研修生が絣くりを体験  
かすり組合の後継者育成事業(織子養成事業)では毎年、織子を育成することを目的として研修している。機織り機にのるまでには、約19個の工程がある。研修の中で、織りだけではなくデザインや染色の講義もある。その他の工程も実際に経験し琉球絣がどのようにできているのか体験する。



すてきな夫婦にインタビュー

## パティシエとお客様の架け橋

ヴァンドウーズ  
パティシエ  
友利 友利  
ひろみさん  
清和さん



沖縄県宜野湾市の住宅街にひっそりと佇む、チョコレート&ケーキ「ジャカラダ・ブルー」ヴァンドウーズ 友利ひろみさんとパティシエ 友利清和さんにお話を伺いました。

### 脈々と受け継がれる食材

チョコレート&ケーキ「ジャカラダ・ブルー」はオーストラリア在住に出会ったひろみさんと清和さんが営むお店。商品はフランス菓子を中心に。チョコにはふーちばー（よもぎ）や島唐辛子、島マースやタンカンなど沖縄ならではの食材を使用している。「昔から沖縄で栽培されている食材を使用してチョコを作っています。この地に育つものは、この地に住む人の体が求めているものだと思うから」と清和さん。チョコレートは原材料カカオも暑い地域で栽培されている。

「どうしても冬のイメージがありますがチョコに含まれるポリフェノールは暑い時期にもすごく合います。」とのこと。

二人が営む店内は、クラシックの音楽がながれ、チョコの香りがふんわりと漂い、住宅街というのを忘れてしまいそうな素敵な空間。



### 高度な専門職ヴァンドウーズ

ショーウィンドに並ぶ小粒なチョコたちを横目に、ひろみさんにヴァンドウーズの資格を取ったきっかけをお聞きした。「お店を開いた直後は何が正しいか、正しくないのかも分からず、2人で試行錯誤しながら販売をしていた。ちょうどその時、お店をオープンする前にお世話になった、シエフ稲村省三氏が全日本ヴァンドウーズ協会を設立したことを知った。販売の仕事は、人に感動を与えることができ、作り手とお客様をつなぐ役割もある非常に高度な専門職。そのことが日本ではまだまだ知られておらず、販売員に対する先入観がある。」とひろみさん。

### “販売のプロ”資格に挑む！

日本では販売職というとアルバイト職という感覚が強いが、ヴァンドウーズはフランスでいう“販売”の専門職。販売のプロフェッショナルである。ひろみさんはヴァンドウーズの資格を取ったことにより世界が広がったという。「全国のヴァンドウーズの方々と情報交換することにより、お客様へのより良い接客マナーを身につけ、自信と誇りをもった販売が出来るようになった。ヴァンドウーズを広げることによって、販売に携わるひとたちの地位向上、やりがい、スキルアップ、離職率の低下にもつながっていきたい。」と意気込む。そして、「清和さんの理解と協力があつたか

らこそヴァンドウーズの資格取得に挑戦できた」と語る。

### みんなが働きやすい環境

清和さんはパティシエ以外の顔も持つ。沖縄県男女共同参画審議会の委員も務め、県が推進する男女共同参画社会づくりに協力している。きっかけは、オーストラリアに住んでいたときの経験が大きい。「女性が働きやすいのではなく、男性も女性もみんなが働きやすい環境を作ること子どもも高齢者も活き活きしてくる。そんな社会になるよう、市民レベルの視点で意見を述べ、社会づくりに寄与したい」と清和さん。

そんなご夫婦には、沖縄でチョコレートの原料となるカカオ栽培の夢もある。色々な人の協力や意見を取り入れ、柔軟に発展していくお二人の今後に期待したい。



友利ひろみさん、夫の清和さん

「ジャカラダ・ブルー」  
沖縄県宜野湾市長田1-8-7メゾン友利1階  
【TEL】098-892-8654  
【営業時間】11:00～19:00  
【定休日】火曜・水曜

# 事業報告と講座案内

## (公財)おきなわ女性財団

### 【講師派遣事業】

沖縄ペットワールド専門学校～性教育とデートDVセミナー～

実施日：4月20日(金)  
講師：垣花みち子(公益財団法人おきなわ女性財団 常務理事)  
場所：沖縄ペットワールド専門学校 7階ホール

### 【スマートフォン・タブレット教室】

シニアによるシニアのためのスマホ教室

実施日：5月17日(木)、21日(月)、23日(水)  
講師：房前三男氏(那覇市シルバー人材センター)

### 【DV啓発講座】

「デートDV」それって、ホントに「恋愛」かな?～

実施日：5月25日(金)  
講師：垣花みち子(公益財団法人おきなわ女性財団 常務理事)  
場所：沖縄女子短期大学 大教室

### 【相談員研修】第1回 ～基礎編～

実施日：5月31日(木)  
◆「女性相談所の役割と連携～沖縄県におけるDVの現状～」講師：行松彩子氏(沖縄県女性相談所 所長) ◆「児童相談所の役割と連携～子どもを守るために～」講師：後野哲彦氏(コザ児童相談所 相談班班長・児童福祉司) ◆「相談現場における弁護士の役割」講師：林千賀子氏(ゆい法律事務所 弁護士) ◆「地域包括支援センターの役割と連携～高齢者もその家族もいきいきと!～」講師：金城真里枝氏(那覇市福祉部チャージがんじゅう課 包括支援グループ主幹・保健師)

### 【相談員研修】第2回 「見る力」、「かかわる力」～メンタルヘルスの観点から～

実施日：7月5日(木) 講師：名城健二氏(沖縄大学人文学部福祉文化学科 教授)

参加者募集!

お問い合わせ&お申込み (公財)おきなわ女性財団 TEL:098-868-3717

### 【女性起業塾】第2回 「事例に学ぶ! 小さく始める起業のかたち」

【日時】8月11日(土)13時30分～15時30分(講座終了後相談会有り)【場所】ているる3階 研修室1・2【講師】山城あゆみ氏(沖縄県よろず支援拠点 コーディネーター)【受講料】無料【対象】起業を志す女性、関心がある方【定員】40名 一時保育:1人500円 定員あり申込締切 8月3日(金)

### 【男女共同参画講座】知ってる? #憲法24条～日本国憲法からみる男女平等～

【日時】8月18日(土)10時～12時【場所】ているる3階 研修室1・2【講師】小林武氏(沖縄大学客員教授・弁護士)【受講料】無料【対象】関心のある方【定員】60名

## 沖縄県男女共同参画センター管理運営団体

### さし草のデザートでおもてなし

実施日：4月25日(水) 講師：興儀喜美江氏  
内容：野草「さし草(アワユキセンダングサ)」は、鉄分、カルシウム、亜鉛が豊富です。さし草を使用し、美味しく健康にいい、さし草入りデザートの実習体験をしました。

### 介護予防ビューティタッチセラピー講座「ハンドセラピー」

実施日：6月20日(水) 講師：仲西郁代氏  
内容：「触れる」ことにより、筋肉の緊張を和らげ、血流とリンパの流れを促し免疫力を高めるタッチセラピーを自宅でもできるような実践的に解説、体験しました。

参加者募集!

### 夏休みにおすすめ! 子ども講座

お問い合わせ&お申込み  
沖縄県男女共同参画センター管理運営団体 TEL:098-866-9090

### 色えんぴつでピカソになろう!

【日時】7月21日(土)10時～12時【場所】ているる3階創作室【講師】江谷紋子氏(アート教室やアート&カラーセラピーを主催。沖縄県立博物館・美術館などの講師を務める。)【受講料】500円【定員】15名 ※保護者同伴

### しっくい面でシーサーを作ろう!

【日時】7月28日(土)10時～12時【場所】ているる3階創作室【講師】かかずかずこ氏(糊メイクマンでの手作り教室や児童館、公民館などで講師を務める。)【受講料】800円【定員】15名 ※保護者同伴

### キラキラぬり絵を作っかざろう!

【日時】8月4日(土)10時～12時【場所】ているる3階創作室【講師】漢那睦美氏(NPO法人マチルダおもちゃ協会、イベントなどで手作りおもちゃの講師を務める。)氏【受講料】800円【定員】15名 ※保護者同伴

### しっくいかわいいデコポットを作ろう!

【日時】8月5日(日)10時～12時【場所】ているる3階創作室【講師】かかずかずこ氏(糊メイクマンでの手作り教室や児童館、公民館などで講師を務める。)【受講料】800円【定員】15名 ※保護者同伴

## ～ているる相談室～

沖縄県男女共同参画センター「ているる」では相談窓口を開設しています。  
相談料は無料(通話料は相談者負担)、秘密(プライバシー)を固く守ります。

	女性相談 TEL : 098-868-4010		男性相談 TEL : 098-868-4011
	一般相談	特別相談	一般相談
日時	火曜～土曜 10:00～20:00	予約制	日曜と月曜 10:00～16:00
相談方法	電話／面接(面接は予約制)	面接	電話のみ
相談内容	生き方、性格、夫婦・親子関係、 対人関係をはじめ様々な悩みや問 題に関する相談を行っています。 ◆国際相談 外国人との結婚・離婚などの様々 な問題に関する相談。	<b>女性問題に詳しい専門家による                      各種相談を行っています。</b> ◆法律相談(月2回) ◆こころの健康相談(月1回) ◆国際法律相談(月1回)	<b>男性からの相談を男性の相談員がお受けします。</b> 男性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、 心や体の悩みなどの相談を電話でお受けします。 秘密は厳守しますので、ひとりで悩まず、お気軽 にお電話ください。
お休み	毎週日曜と月曜、年末年始(12/29～1/3)		祝日にあたる月曜、年末年始(12/29～1/3)

## ～賛助会員入会・継続のご案内～

当財団の活動に賛同し、一緒に歩んでくださるみなさまのご入会をお待ちしております。

頂いた会費は各種事業などに活用させていただきます。

●特典：情報誌「ているるちゃんがいく！」や講演会・講座情報などを文書にてお知らせいたします。  
講演会や講座等へ優先的に参加、当財団が主催する有料講座は会員価格で受講できます。

●年会費：個人会員：3,000円 学生会員：2,000円 団体会員：10,000円

※新規は、入会時期(申込日)により金額が異なります。

(公財)おきなわ女性財団(098-868-3717)までお問合せください。

## 大城 貴代子さん 男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰

平成30年6月27日(水)に公益財団法人おきなわ女性財団評議員の大城貴代子さんが、女性の社会進出や地位向上などに貢献した「男女共同参画社会づくり功労者」として内閣総理大臣表彰を受賞されました。

大城さんは、1940年山口県宇部市生まれ。青年団活動をとおして結婚、沖縄へ。県庁職員となり、女性政策室室長、生活福祉部長、文化環境部長などを歴任。退職後は、北谷町、南風原町、嘉手納町、西原町、南城市などの男女共同参画会議や懇話会の会長を務め、男女共同参画社会づくりや労働・福祉の問題に尽力しました。2016年5月、沖縄県女性団体連絡協議会会長に就任。

現在は、女団協50年記念誌の編さんに意欲的に取り組んでいる。



平成30年7月10日 沖縄県副知事表彰

沖縄県男女共同参画センター「ているる」 〒900-0036 沖縄県那覇市西3-11-1

発行月：平成30年7月

発行：公益財団法人おきなわ女性財団  
TEL:098-868-3717 FAX:098-863-8662  
HP: <https://www.okinawajosei.org/>

沖縄県男女共同参画センター管理運営団体  
TEL:098-866-9090 FAX:098-866-9088  
HP: <http://www.tiruru.or.jp/>